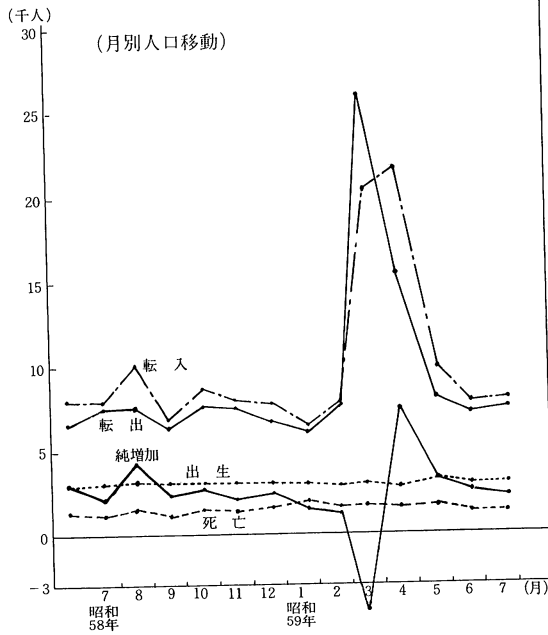
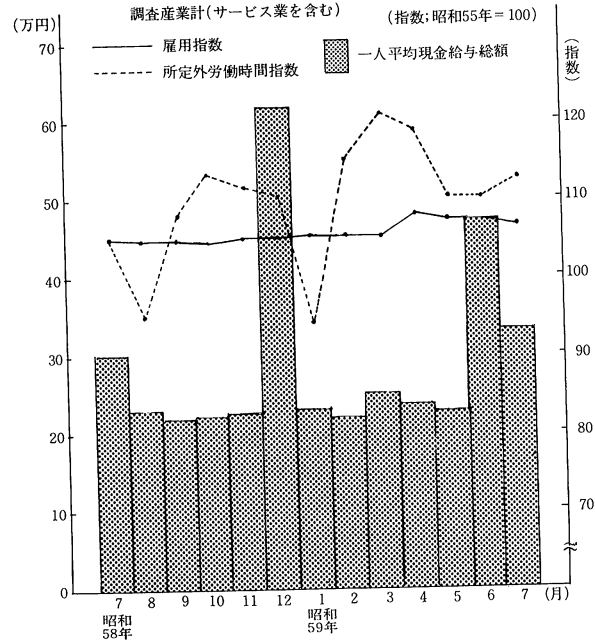


今月の主な動き

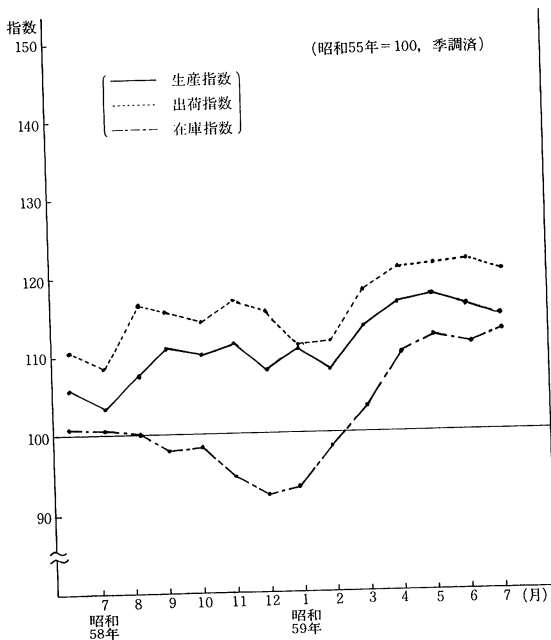
人 口



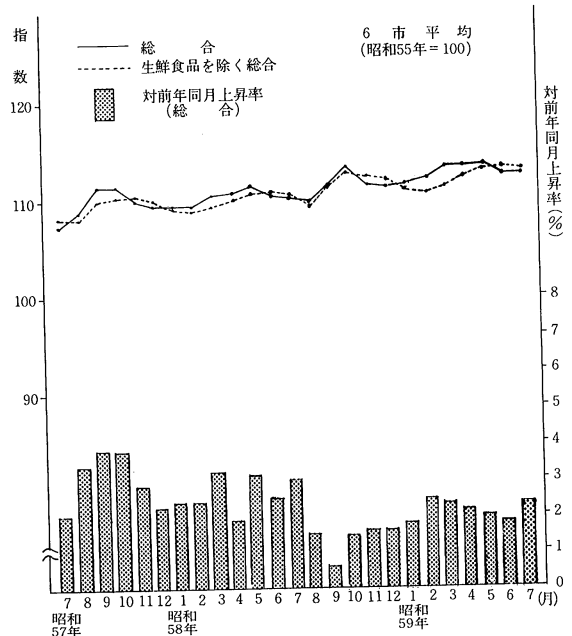
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (8月1日)

本県の人口は、7月中に2,167人増加し、8月1日現在で2,685,412人になった。昨年8月1日と比較すると、26,754人(1.01%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,746人(出生3,023人、死亡1,277人)、社会動態で421人(転入8,097人、転出7,676人)、それぞれ増加した。

牛久町の人口は、7月中に118人増加し、5万人を超える50,112人となった。

市町村別では、増加が16市62町村、減少が2市11町村、増減なしが1町である。

世帯数は484世帯増加して747,667世帯になった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (7月)

1. 平均賃金の推移

7月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む。)1人1ヶ月平均現金給与総額は329,619円で前月に比べ30.0%減(前年同月比8.3%増)であった。

このうちきまって支給する給与は221,285円で前月に比べ0.7%減(前年同月比4.0%増)であり、特別に支払われた給与は108,334円で前年同月に比べ16,747円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は183.8時間で、前月に比べ2.8%減(前

年同月比0.6%増)であった。

このうち所定内労働時間数は166.3時間で、前月に比べ2.8%減(前年同月比0.1%減)であり、所定外労働時間数は17.5時間で、前月に比べ3.3%減(前年同月比7.3%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.8で、前月に比べ0.3ポイント減、前年同月に比べ1.5ポイント増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (7月)

昭和59年7月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が114.4、出荷が120.4、在庫が112.7で、前月比は、生産が△1.0%低下、出荷が△1.5%低下、在庫が1.5%上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が10.3%、出荷が10.2%、在庫が12.3%の上昇であった。

生産を業種別にみると、化学、非鉄金属、食料品・たばこ等が上昇し、電気機械、繊維等が低下した。

出荷を業種別にみると、化学、食料品・たばこ、窯業・

土石製品等が上昇し、石油・石炭製品、電気機械等が低下した。

在庫を業種別にみると、石油・石炭製品、繊維、電気機械等が上昇し、精密機械、金属製品等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、鉱工業用生産財、非耐久消費財等が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財、建設財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (7月)

昭和59年7月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で113.1(昭和55年=100)となり、前月比(+0.2%上昇、対前年同月比(+2.4%の上昇)となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草(+6.8%、果物(+2.2%、魚介類(+1.5%

今月下がった主な項目……衣料(-3.3%、シャツ・下着(-2.4%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	113.1	0.2	2.4	保健医療	108.7	0.0	2.8
食 料	114.2	1.1	3.3	交通通信	108.5	0.1	1.5
住 居	112.4	0.0	0.4	教 育	134.3	0.0	5.3
光熱・水道	108.9	△0.1	0.0	教養娯楽	114.2	△0.2	2.5
家具・家事用品	105.9	0.0	1.6	諸 雑 費	112.6	0.0	0.3
被服及び履き物	111.7	△2.2	3.2	生鮮食品を除く総合	113.2	△0.2	2.3